

廃炉プロセス「PCV/RPV/建屋の解体」
検討対象「解体シナリオ」
課題「作業シーケンスの設定」

ニーズ

1. 解体の作業シーケンスを設定したい。

PCV/RPV/建屋の解体：【長期2】

望ましい状態とその理由

- PCV/RPV/建屋解体を効率的・効果的に実施するためにも、解体シナリオおよび廃棄物の分別戦略に基づいて、具体的な解体作業シーケンスを設定することが望まれる。

理想に対する現状

- 廃棄物の分別戦略の一環として、廃炉・汚染水・処理水対策事業では、固体廃棄物を対象に、廃棄物ストリームが検討されている。
- また、3・4号機廃棄物処理建屋の実施建屋解体に係る汚染調査、解体方法等（建屋解体モデルの策定）については、2028年度までに整備することが計画されている。

解決すべき課題

- 課題番号：解体203の解体シナリオ検討が一定程度進まない限り、解体の作業シーケンスを検討することは難しい。

参考文献

- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2025年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表
 - https://www.tepco.co.jp/decommission/information/committee/evaluation_review/pdf/2025/evaluation_review_2025043006.pdf

（参考）関連する研究課題

実施されている研究課題

- 特になし

検討されている研究課題

- 特になし

関連する課題

- 解体-101「炉内・建屋内の汚染状況の把握（解体のための）」
- 解体-102「解体対象物の性状・物量の把握」
- 解体-202「 α β γ 分別基準の設定」
- 解体-203「解体シナリオ・分別戦略の策定」
- 解体-301「炉内構造物の撤去、建屋の解体」